

Medical Technology News

臨床検査室新聞

歯周病と糖尿病

お互いに悪い影響を及ぼす！

歯周病とは、プラーク（歯垢）が主な原因となり、歯を支える組織が炎症を起こす病気です。放置すると骨を破壊し、歯を失う事にもなります。

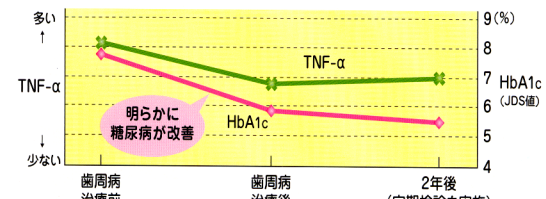
歯周病は、糖尿病の合併症の一つであり、糖尿病を悪化させる原因でもあります。糖尿病の患者さんは、糖尿病ではない人に比べると歯周病にかかりやすく、また免疫機能が低下しているため、細菌に対する抵抗力も少なく、歯周病が悪化しやすくなっています。

歯周病菌は腫れた歯肉から血管内に侵入し全身に回ります。歯周病菌の内毒素は、脂肪細胞

や肝細胞からのTNF- α （悪玉物質）の産生を強力に押し進めます。このTNF- α は、血糖値を下げるホルモンであるインスリンの働きを妨げてしまい、そのため血糖コントロールを悪化させます。歯周病を治療すると血糖コントロールも改善するという結果が得られています。

(下図)

■歯周病の治療で糖尿病が改善 TNF- α : インスリンの働きを妨げる悪玉物質 HbA1c: 長期的な血糖値のバロメーター



ジョンソン・エンド・ジョンソンハンドブックより



LOOK



なりきりツアーで検査技師体験!!

10月11日(土)に八雲総合病院で2度目となるお仕事なりきりツアーが開催され、5名の子供たちが検査技師の仕事を体験しました。

体験内容は、一般検査では口の中から綿棒で粘膜を採って染色して、細胞や細菌を顕微鏡で見ました。次に生理検査では心臓の超音波機器を使って模擬患者の胸に機器を当て心臓の動きを見る超音波体験をしました。また、ゼリーに入った野菜や果物を超音波を使って当てるクイズをしたり検査室の仕事を楽しみながら体験しました。

検査室ではこのような冊子を作って説明しました!

顕微鏡でのぞいてみよう! 自分のからだ

口の中はどう見える?

口の中を綿棒でとってスライドガラスにこすりつけ、色をつけて顕微鏡でのぞいてみると、いくつもの細胞やたくさんの数の細菌を見ることが出来ます。

細胞
細菌
細胞がくっついてる細菌



蚊が媒介する感染症 マラリア

今年9月、蚊に刺されて感染するデング熱の感染者が続出しました。蚊が媒介する感染症はデング熱以外にもあり、日本で発生、あるいは持ち込まれる可能性の高い疾患として

マラリアは、日本では戦前に見られたようですが、現在は国内での感染による発生はありません。国内の患者報告例はすべて海外のマラリア流行国で感染した、いわゆる輸入感染例で、平成20年から24年の5年間に全国で336件の患者報告数がありました。



マラリアは主に熱帯から亜熱帯に分布し、ハマダラ蚊がヒトにマラリア原虫を媒介することにより感染します。病原体は原虫で、原虫とは単細胞の動物で、人体に寄生して病害を与えるものをいいます。ヒトに感染するマラリアには、熱帯マラリア、三日熱マラリア、四日熱マラリア、卵形マラリアの4種類で、この中で熱帯熱マラリアは短期間のうちに重症化し、死に至ることもあります。主な症状は、発熱、

歯周病の予防にはプラークを取り除くことが大切

- ①ブラッシング—歯ブラシで磨く
- ②フロッシング（歯間部清掃）糸ようじなどで歯と歯の間のプラークを取り除く
- ③マウスウォッシング—薬用成分のマウスウォッシュでうがい、お口全体を殺菌・洗浄



お口の異常を感じたら早めに歯科医を受診しましょう。

2014年11月 第55号 発行元 八雲総合病院 臨床検査室



ほと time

「病院のお仕事なりきりツアー2014第2弾」が10月11日(土曜日)に開催されました。

おじちゃん おばちゃん 検査室の おにいさんと おねえさんは



若いパワーをもらってしばらく元気に仕事が出来そうです。体験しに来てくれた子供達...

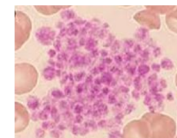
ありがとう♡

検査の基本

EDTA依存性偽性血小板減少症

血小板測定にはEDTAとよばれる抗凝固剤入りの採血管を使用するのが一般的ですが、そのEDTAが血小板の表面構造を変化させ、凝集塊を形成することがまれにあります。EDTA依存性偽性血小板減少症といひ、機器で測定すると凝集塊は血小板と認識しないため実際よりも低値となってしまう。

対策としては、別の抗凝固剤を用いるか、採血直後に測定し、正しい血小板数を確認します。



血小板凝集

編集後記

今年は大雨による土砂災害や御嶽山の火山噴火など自然災害が多く、また世界ではエボラ出血熱で不安が広がっています。今年もあとわずかか、来年に向かって良いことがありますように!!!

